

品川区地球温暖化防止対策実行計画(第三次)の実績について

①計画の概要

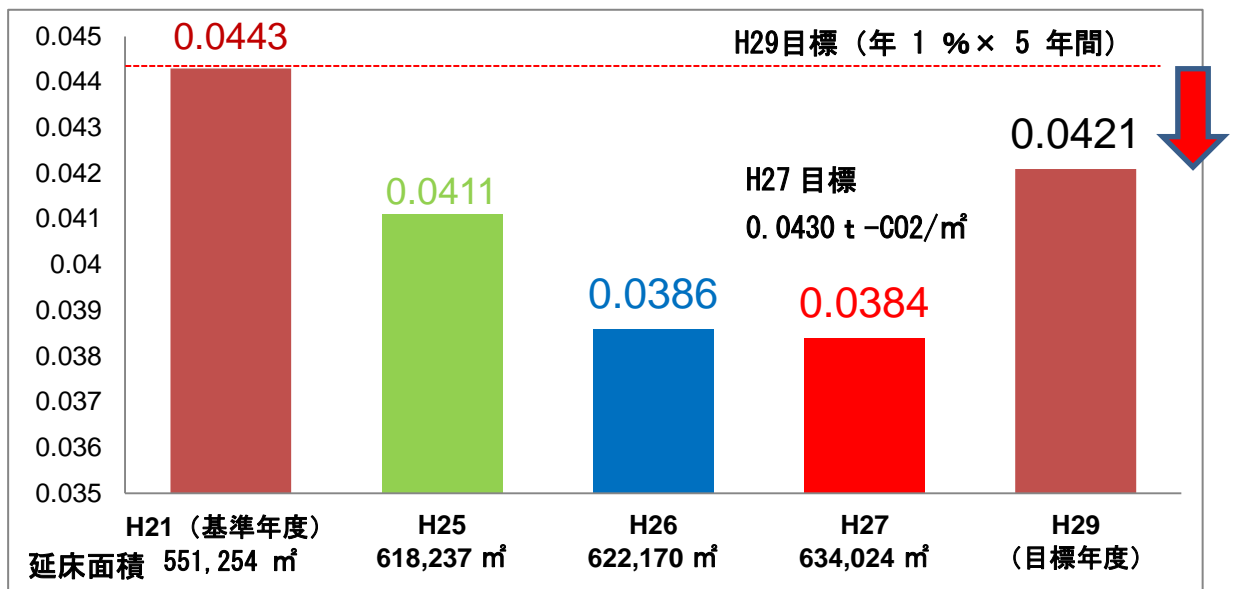
品川区地球温暖化防止対策実行計画(第三次)は、品川区役所の事業に関わる全ての施設・車両の二酸化炭素(CO2)排出量を管理するものです。

- ・計画期間／平成 25～29 年度
- ・目標／1 m²当たりの排出量を 5 年間で毎年 1%以上削減
- ・基準年度・基準値／平成 21 年度・0.0443 t-CO₂/m²
- ・目標年度・目標値／平成 29 年度・0.0421 t-CO₂/m²

②平成 27 年度実績

実績は (CO₂ 排出量) ÷ (延床面積・m²) で求めた数値を比較します。

平成 27 年度は目標値 0.0430 t-CO₂/m² に対し、0.0384 t-CO₂/m² となり、削減目標を達成しました。(計画 3 年目で 10.7%削減／推移は次のグラフのとおり)



③前年度との比較・分析

区役所では、各部署で継続して省エネルギーの努力を行っています。

具体的には以下の取組があります。

- ・しながわエコリンクで省エネルギーに取り組む体制・基準を定め、各部署の自主的な行動を促すとともに、相互に環境監査を行うことで意識を高める。あわせて、監査で発見された優れた取組を表彰して他部署への普及を図る。
- ・夏季節電対策として、平成 22 年度を基準に 15%削減を目指す。
- ・サマールック、ウォームビズキャンペーンで、空調温度の調節を呼びかける。
- ・ライトダウンキャンペーンで、消灯による節電を促す。

④今後の対策

- ・引き続き上記を通じて、省エネルギー意識の更なる向上を図る。
- ・省エネルギーについて、より効果的に行うための制度や組織の改善を検討する。

〔補足説明〕

C02 排出量は、エネルギー毎に（使用量）×（C02 排出係数）で計算します。節電等の努力によりエネルギー使用量は削減できましたが、東日本大震災以降、原発停止の影響で電気の C02 排出係数が大きく上昇しています。

（電気はエネルギーの熱量換算比較では使用量全体の 4 分の 3 を占めています。）

この実行計画では区の実績状況を経年比較するため、C02 排出係数を基準年に統一して（H21 0.384kg-C02/m³）、C02 排出量を計算しています。

これを H27 の変動係数（0.505kg-C02/m³）で計算すると、0.0464t-C02/m³となり、実際の排出量は 4.7%増となります。

〔参考資料〕

気温データ	年間平均気温	真夏日 (最高 30℃以上)	熱帯夜 (最低 25℃以上)
平成 27 年度	16.8℃	42 日	31 日
平成 26 年度	16.3℃	38 日	23 日

